

## 久木迫文庫が届きました！

本校2期生の久木迫武憲様より、今年も158冊の本を頂きました。「後輩たちの学習のために役立ててほしい」というお気持ちが伝わる158冊、皆さんの将来に役立つ本が数多く含まれています。大いに活用してください。

### \*郷土に関する本

- 『薩摩漂流船とゴンザ』上村 忠昌 著(南日本新聞開発センター) \*ゴンザの編纂した『露日(露語)辞典』には鹿児島弁がいっぱいです。
- 『橋口五葉 装飾への情熱』西山 純子 著(東京美術) \*五葉の生家は甲東中あたりです！漱石作品の装丁も五葉によるものが数多くあります。
- 『逃げ水の七郎太』三沢 明郎 著(幻冬舎)

### \*哲学・歴史・社会科学に関する本

- 『90分でわかるカント』(WAVE出版)
- 『図解 使える哲学』小川 仁志 著(中経出版)
- 『高校倫理からの哲学 ①~④』直江 清隆 編(岩波書店)
- 『池上彰の現代史授業 昭和編 ①~④ 平成編 ①~④』池上 彰 著(ミネルヴァ書房)
- 『絵で見る十字軍物語』塩野 七生 著(新潮社)
- 『皇帝フリードリッヒ二世の生涯 ⑤⑥』塩野 七生 著(新潮社)
- 『縄文美術館』小川 忠博 著(平凡社) \*おちゃめな土偶に出会えます！
- 『NHK番組が本になった！「テストの花道」①~⑤』(河出書房新社) \*勉強が楽しくなります。日々の参考に！
- 『政治学大図鑑』ポール・ケリー著(三省堂)

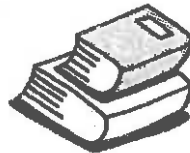


### \*自然科学に関する本

- 『サイエンスカフェによろこそ ①~⑤』滝沢 公子(ほか) 編(富山房インターナショナル)
- 『ウイルスと地球生命』山内 一也 著(岩波書店)
- 『音のイリュージョン』柏野 牧夫 著(岩波書店)
- 『デボン紀の生物』土屋 健 著(技術評論社)
- 『シリーズ生命倫理学 ①~②⑩』(丸善出版) \*将来、医療関係を目指す人は、是非お読みください！
- 『数学ガールの誕生』結城 浩 著(SBクリエイティブ) \*人気の『数学ガール』の続編です。数学が好きになる・・・はず！
- 『栄養士・管理栄養士のためのなぜ？どうして？！ ①~②』(メディックメディア) \*栄養士を目指す人、必読の書！
- 『Q&A早わかり食育基本法』(大成出版社)

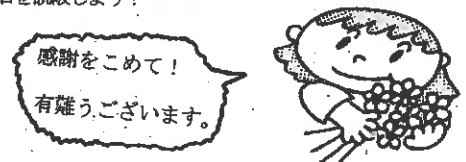
### \*芸術・体育に関する本

- 『世界の素描1000の偉業』(二玄社)
- 『はじめての音楽史』片桐 功 著(音楽之友社)
- 『新版 オペラ・オペレッタ名曲選』(音楽之友社)
- 『錦織圭 マイケル・チャンに学んだ勝者の思考』児玉 光雄 著(サンクチュアリ出版)
- 『スポーツ選手なら知っておきたい「眼」のこと』(大修館書店) \*自分自身を管理することで強くなる！
- 『サッカー選手なら知っておきたい「からだ」のこと』(大修館書店) 運動系部活動生のバイブル。



### \*文学

- 『岩波文庫 夏目漱石全集 全27巻』夏目 漱石 著(岩波書店) \*文庫で漱石を読破しよう！
- 『悲嘆の門 ⑤⑥』宮部 みゆき 著(毎日新聞社)
- 『絶唱』湊 かなえ 著(新潮社)
- 『ラストワルツ』柳 広司 著(角川書店)



いろいろな分野の書籍がずらりと並ぶ「久木迫文庫」。感謝の気持ちを忘れずに、大切に読み継いでいきましょう！

# 学習室の利用について

昼休みの3年生の学習室利用が増えてきました。また、放課後は3年生のみを対象に20時までの延長利用が始まりました。ここでもう一度、学習室の利用についての確認をしておきましょう。

**昼休み** → 昼休み終了のベルが鳴ったら、席を立つ。  
その際、机の上に消しかすを残さない。椅子はきちんと机に入れる。

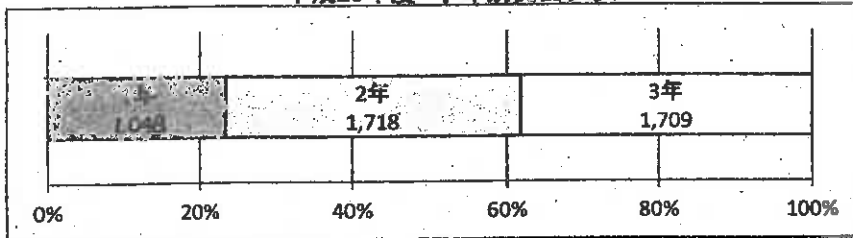
**放課後** → 放課後学習をする時は、必ず1階の鞆箱で図書館のスリッパに履き替える。  
閉館5分前には後片付けをし、下校する。  
その際、机の上に消しかすを残さない。椅子はきちんと机に入れる。



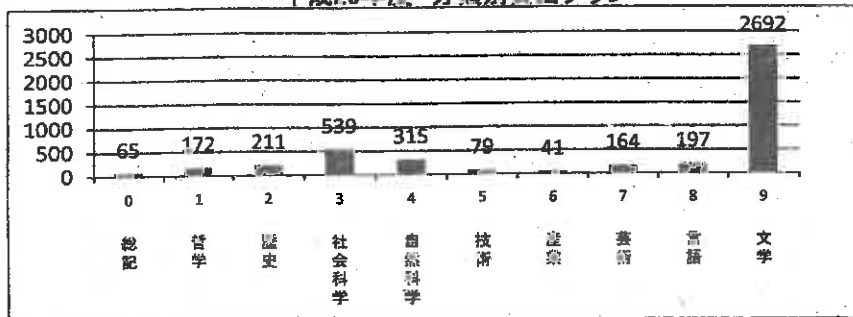
- \*スリッパ使用は学習入り口の赤い鞆箱までです。赤い鞆箱の外でスリッパは履いてください。
- \*学習室入り口の「消しかす入れ」を活用してください。
- \*館内では私語厳禁です。友達への質問等は廊下でお願います。飲食も禁止です。
- \*休日に利用する場合、昼食は視聴覚室を利用してください。利用時間は12時から13時までです。

## 昨年度の貸出統計 ～4,475冊分の蓄え～

平成26年度 学年別貸出グラフ



平成26年度 分類別貸出グラフ



平成26年度図書館利用状況(まとめ)

学年別貸出冊数	1年	1,048冊
	2年	1,718冊
	3年	1,709冊
男女別貸出冊数	男	1,673冊
	女	2,802冊
生徒貸出部計	4,475冊	
貸出日数	1年	211日
	2年	211日
	3年	199日
貸出日数(全体)	211.0日	
1日あたりの貸出	1年	4冊
	2年	8冊
	3年	8冊
1日あたりの貸出(全体)	21.2冊	
生徒1人あたりの貸出	4.6冊	

時間外利用者数	12,735人
時間外開放日数	324日
時間外開放時間	1,417.35時間
1日あたりの時間外利用者数	39.3人

\*本を読むことで、人はいろいろな事を考えます。そして、何かが点となって心に残ります。そのいくつかの点が、いつか線で結び、私たちの力に変わるのではないのでしょうか。今年もたくさんの点を心に残すことが出来ればいいですね。

## 編集後記

慌ただしい4月は、あっという間に過ぎ去り、若葉の美しい季節となりました。忙しい毎日ではありますが、今年こそは、毎日、少しずつでも読書を楽しみたいものです。本県では「1日20分読書」運動に取り組んでいます。今年届いた「久木迫文庫」も、皆さんの読書をより楽しく、また学習をより深くする内容の本ばかりです。大いに活用することが、久木迫先輩への一番のお礼ではないでしょうか。

また学習室は、3年生の延長利用が始まりました。鉛筆の音しか聞こえない学習室で、大きな目標を達成してください。1・2年生の皆さんも、先輩方の背中を見て多くのことを学んでください。